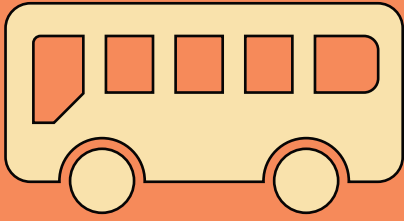


テーマ:①

みんなで**公共(協働)交通**
をつくるには

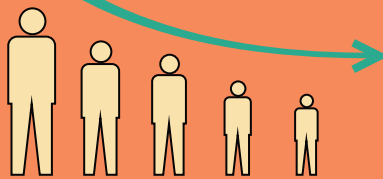


埼玉政経セミナーでは、4年ごとに「ローカルマニフェスト」を作成しています。これは私たちの活動の指針であると同時に活動を通して皆さんとともに解決していきたい課題です。またこのマニフェストは皆さんとコミュニケーションをとるためのツールでもあります。6月に2019年に作成したマニフェストの検証大会を行います。その事前討論会を行うことにいたしました。今回は、3月14日に行った研究発表会のテーマに沿って、これらがマニフェストとどう関連しているのか、今後どのように進めて行くのかについて皆さんと話し合いたいと思います。当日はオンラインでの実施になりますが、分科会形式でご興味のあるテーマについての討論にご参加いただけます。

私たちの望む 未来のまちを もっとかたむける。

テーマ:②

人口減少は
マイナスなのか?



5/29

Sat.

18:30

埼玉政経セミナー ローカルマニフェスト検証大会事前討論会

日時:5月29日(土)18:30~20:30

参加費:無料

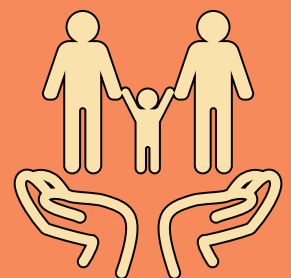
開催方法:オンライン(Zoom)



申し込み用フォーム
締切5/25

テーマ:③

生活保護と貧困



【研究発表会 報告】 私たちの望む未来のまちをかたる (3/14)



埼玉政経セミナー会員による研究発表会が3月14日午後2時より、春日部市市民活動センターにて開催されました。セミナーがめざす「自立した協働のまちづくり」に向けて、会員3名がそれぞれの問題意識に基づいて学んできたことと意見を発表しました。

「公共(協働)交通をつくるには」

白岡市の公共交通の現状をまわりの市町村と比較し、その脆弱さを明らかにしました。現在の公共交通の不足を克服するための提案と、国土交通省が近年すすめている自家用有償運送を各地域で市民と行政がおこなっていることへの課題を示しました。

「人口減少はマイナスか」

春日部市の歴史から、各地域ごとの特徴や統計データからみた人口減少の現状が明らかになりました。持続可能な社会をつくるために、「豊かな生活」とはどういうことかを基盤としたまちづくりをまずは自分自身が考え、地域や行政の人たちと話し合う空間を無数に作ることが提案されました。

「生活保護と貧困」

埼玉県では生活保護の保護率が増加傾向にあり、生活保護制度を社会保障制度として鑑みることで受給や精神的ハードルが高く、「最後のとりで」に行くつく前の貧困対策や最初の砦としてベーシックインカムやベーシックサービスの必要性に言及しました。



3/14発表会の動画(youtube) 報告の詳細はWebサイトで



今回の事前討論会では・・・



今回の事前討論会では、3月14日で取り上げたテーマをより深く掘り下げます。参加される方は申し込み時に話し合いたいテーマを一つ選び、当日の「分科会」で討議にご参加いただきます。

今住んでいる地域の将来はどうなっていくのか、どうしたいのか。ご自分の望む「未来のまち」について、皆で話し合しましょう。政経セミナーでは討論会で出された内容を踏まえて話し合いを続け、2019年に私たちが作成したローカルマニフェストの検証大会に臨みます。



埼玉政経セミナー

市民マニフェスト

2019年統一地方選挙

検証大会

今回の事前討論会をふまえた検証大会を開催いたします。

日時: 6月27日(日) 15:00-17:00

場所: オンライン(Zoom)



埼玉政経セミナー Webサイト
<http://seikei.laccess.net/>